

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プラスアップ・ラボ実習第2教室		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	カリキュラム内容の種類	<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇の時には普段できないイベントを企画し、行うようにしている 週替わりでカリキュラムを変えている 	イベント等の情報収集を行う 児童の興味のあるものを日ごろの活動の中でヒアリングしていき、より幅広く様々な分野を取り入れることができるようにしていく
2	通所を楽しみにしている児童が多いこと	児童の興味(PCスキル、プログラミングなど)があるものを提供している	より理解できるようになるための取り組みを考える 職員自身も提供している活動内容に関する知識を深め、子どもたちにそれを提供できるようにしていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童同士のかかわりが薄いこと	来室時間のばらつき、偏りがあること 自由時間にパソコンを使いたい児童が多く、利用児童の状況に合わせた支援をしている為、支援員が仲立ちする時間を設けられていない	長期休暇時など時間のある際に集団活動などを取り入れ、児童同士の交流の場を設けるようにしていく。
2	外出活動の日の集客があまりできていないこと	児童の興味があるような行先で目づ、費用が掛からない場所の提供が難しいこと	外出先の候補になる場所の情報収集を行う 利用希望が出ていなくても声をかけると参加してくれる家庭もあるので、保護者の意向は尊重しつつ積極的に呼びかけをしていく。
3	地域交流や保護者の集まり等ができていないこと	地域との連携がうまく図れていないこと 事業所が保護者の集まりを主宰していないこと	保護者の集まりに関しては保護者の意向を確認しながら企画していく 今年度はあまり地域のイベント等に参加することができていなかったため、次年度はそのようなイベント等の情報収集をし、子どもたちのニーズにあったものを選んで参加できるようにしていく。